

練馬区における小中一貫教育の評価方法について（案）

1 評価の目的

各校および教育委員会が、小中一貫教育の取組の成果と課題を把握し、取組内容や取組方法を見直して改善につなげていくため

2 学校評価を活用した評価

<案1>

全校統一で、練馬区共通の質問項目を設定する

<案2>

練馬区共通の質問項目は設定しないが、小中一貫教育実践校グループのなかで小中共通の小中一貫教育に関する質問項目を入れることを推奨する

3 学力調査を活用した評価方法（案）

小中一貫教育の取組に応じて、その年の重点項目を選択肢、目標値を設定する。

（例）重点項目：読解力（国語）

目標 「わからない言葉がでてきたら、国語辞典で調べますか」の質問で
調べると答える割合を 小学校 50% 中学校 40% をめざす

（例）重点項目：家庭学習

目標 「家で1日にどのくらい勉強しますか」の質問で
1時間以上の割合を 小学校 70% 中学校 75% をめざす

4 学校評価以外に活用が考えられるデータ（各校の状況に応じて活用する）

（1）取組に関するアンケート、感想文

（2）学校公開日のアンケート

（3）学校生活満足度調査

（4）家庭学習時間調査